

提供会員 63 人 依頼会員 180 人 両方会員 4 人 合計 247 人 累計活動件数 938 件 2024 年 11 月末

◎12月28日(土)から1月5日(日)まで事務所はお休みです。(緊急の連絡は携帯電話に転送されます)

※ニュースをメールで受け取り希望の方へ
 件名に会員番号とフルネーム、本文に「ニュースをメールで受け取り希望」と
 入れていただき、配信希望のアドレスから kodomo21@zb.ztv.ne.jp に送信を
 お願いします。
 又は右 QR コードを利用していただいても結構です。



提供会員養成講座



第1回の度会郡・大台町 FSC と協働の講座は台風の影響で一部が日程変更になり、先生と受講生の皆さんとの日程調整に苦労しましたが、10月27日に最後の講座を済ませる事ができました。

今回の講座で提供会員一人が登録出来ました。

第2回の講座は、下記日程で決まりました。

今回は、コロナ禍から中止していた託児を再開します。子育て中の世代の方にも受講していただければと思います。

また、回りの方で、子育て支援に興味をお持ちの方があればお声掛け下さい。

5年経過の提供会員の方には個別にご案内します。

プログラム内容

日程	時間	講座内容	講師 (敬称略)	会場
2/2 (日)	9:50~10:00	☆開校式・オリエンテーション	アドバイザー	小俣農村環境改善センター
	10:00~11:30	子育て支援サービスを提供するために	秋山則子：三重みなみ子どもネットワーク	
	12:30~14:30	保育の心	堀川美子：育児支援アドバイザー	
	14:40~16:40	児童虐待と社会的養護	鈴木 聡：三重県市町児童相談アドバイザー	
2/8 (土)	9:30~12:30	事故による子どもの傷害/実態・予防・ 応急処置/心肺蘇生法	青木恵津子/吉田由佳： 日本赤十字社三重県支部	
	13:30~15:00	子どもの生活へのケアと援助 伊勢市の子育て支援 メンタルパートナー養成講座	保健師：伊勢市福祉総合支援センター	
2/9 (日)	9:30~12:30	心の発達と保育者の関わり/障害のある 子の預かりについて	伊藤拓也：高田短期大学こども学科	
	13:30~16:30	身体の発育と病気	羽根靖之：はね小児科医院	
2/15 (土)	9:30~12:30	子どもの栄養と食生活	馬場啓子：管理栄養士	
	13:30~15:30	子どもの遊び	山野栄子：ユマニテク短期大学	
2/16 (土)	10:00~12:00	小児看護の基礎知識	岡田まり：(株)ジェネラス訪問看護ステーションほたるいせ	
	13:00~14:30	振り返りと事業説明	秋山則子：三重みなみ子どもネットワーク	
	14:40~15:10	☆会則・活動記録等の説明：	アドバイザー	

対象者：伊勢市内及び近隣市町に在住する18歳以上の人で、受講後提供会員として登録していただける人

募集人数：20人（先着順）

受講料：無料 / 但し、テキスト代（2,600円）は受講者負担となります

託児：定員あり（事前申込要）

申し込み：電話・FAX・メール・フォームにてお申し込みください

※今回、講座日程のすべてを一度に受講できない人はご相談ください。

申し込みフォーム



交流会報告

「靴の消臭剤とアロマスプレーを作ってみよう」

12/8(日)10:00~11:30 小俣南部清掃レンタルルーム

今年度の交流会は、「アロマオイル」を使って靴の消臭剤とアロマスプレーを作りました。

講師の藤原さんから香りについて色々とお話を聞いた後、10数種類の香料の中から好きなものを選び、重曹と混ぜて靴下の中に入れて靴の消臭剤を作りました。

参加者の個性あふれる靴用消臭剤ができました。



参加者より



❁ 初めてアロマについてお話を聞いてみて、選ぶ精油によって作用が違うことを知りました。

自分の気分や体調に合わせて選ぶ楽しさを知ったので、家でも取り入れていきたいと思いました。消臭剤、アロマスプレーを子どもと楽しく作らせていただきありがとうございました。(M.H.)

❁ 楽しくアロマスプレーを作れました。

自分で作ったアロマスプレーはとてもいいにおいでした。(2年 K.H.)

❁ 自分の好きなにおいの精油を見つけてアロマスプレーを作れて楽しかったです。

(6年 S.H.)

❁ アロマに興味があったので、講師の方のお話が楽しく子どものことを忘れて聞き入ってしまいました。たくさんのいい香りに包まれて癒しの時間を過ごすことができました。自分好みのオリジナルなスプレーと消臭剤ができたのでお家でもしばらく楽しめそうです。ありがとうございました。(K)

❁ 全部が楽しかったです。粉を混ぜるのが一番楽しかったです。(S)





里親シンポジウム終わりました

10月6日に玉城町の保健福祉会館で三重県主催の「里親シンポジウム」が開催されました。

当日は、関係者も含め250名あまりの参加者がありました。

基調講演では、(一般社団法人) 子どもの声からはじめよう代表理事の川瀬信一さんから、「子どものために」ではなく「子どもとともに」というお話があり、大人が子どもの権利を正しく捉えることは難しいけれど、とても大切だと思いました。

参加された方は、パネルディスカッションに出ていた若者が、しっかり自分の意見を言うことに感心していました。



子どもの権利条約



第25条

締約国は、児童の身体又は精神の養護、保護又は治療を目的として権限のある当局によって収容された児童に対する処遇及びその収容に関連する他のすべての状況に関する定期的な審査が行われることについての児童の権利を認める。



ビジュアル版子どもの権利宣言 (シェーナ出版社/遠藤ゆかり訳) では、

「病院などに入っている子どもが審査を受ける権利」

治療を受けるために病院などの施設に入っている子どもは、その治療が必要なのかどうかを知るために、自分が置かれている状況を定期的に調べてもらう権利があります。

とあり、どのような状況の子どもに適用されるのか少しわかりやすく説明してもらっています。一時保護、入院、入所した子どもは、治療したり安心して過ごせる場を提供されますが、説

明はその保護者である大人に向けてされる事が多いと思います。

かつて自分の子どもが小さい頃入院した際に、子どもに説明したでしょうか？自分たち（大人）の都合ばかり優先させ、子どもはその流れに乗って当然、という意識しか当時の私にはなかったように記憶しています。

病院で子どもに接してくれた方々は違っていたかも知れませんが、自分は子どもの不安な気持ちを慮ることもありませんでした。

入院や入所した子どもにとって最善の利益になることが前提で、子どもが理解出来るよう説明し、第12条（子どもの意見表明権）でも保障されている、子どもの意思を尊重しその意見に耳を傾けることが大切です。時には意見表明の難しい子どもに対しては、子どもの背景を理解した上で代弁出来る大人が必要だと思いました。

池田



いろいろお知らせ



♪ 子ども支援者成講座 Web で受講

チャイルドラインの事や、知っているようで知らない子どものことを学んでみませんか。お子さんに関わる方には是非聞いていただきたい内容です。



現在 Web で配信されています（配信は 2025 年 3 月 31 日まで）

- ・チャイルドラインとは

認定 NPO 法人チャイルドヘルプライン M I E ネットワーク 代表理事 田部 眞樹子

- ・子ども支援のまちを創ろう～チャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす～
早稲田大学 名誉教授／子どもの権利条約ネットワーク 代表 喜多 明人
- ・子どもからみたネットメディア

NPO 法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事 須永 祐慈



お申し込みはこちら⇒



♪子ども服のリサイクル交換コーナー（無料）常設中（もらっていくだけでも OK です！）
♪毎月 11 日はイオンのイエローレシートの日!!（イオン伊勢店の三重みなみ子どもネットワークの BOX にイエローレシート入れて下さいね<m(_)_m>）
マックスバリュラパーク店の登録は終了しました。
♪チョコレート・カテキン茶・乾燥あげ・こんにやくも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります！ ご入用の方はみんなネット事務所までお問合せ下さい。

随時発行

《発行》 いせファミリー・サポート・センター

〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク（みんなネット）内

TEL：0596-28-5692 FAX：0596-28-5679

e-mail kodomo21@zb.ztv.ne.jp



メール



ホームページ